

別紙添付①

TOTAL P.01

<御堂筋フロントタワーにかかる三菱地所と貴社間のトラブルについて－2>

継続して貴社と三菱地所とのトラブルの経緯を読ませていただきしておりますが、今感じているのは、「三菱地所との取引による被害者は貴社だけなのだろうか」ということです。

三菱地所は、一般には“日本の超一流会社”と考えられていますが、本当に貴社の主張されているような不誠実な行動、対応をとっているのであれば、それは三菱地所という会社の本質である可能性が高く、貴社に対してだけ狡猾で不誠実で、ほかの取引先に対してはとても誠実、ということはあり得ないのではないか、と考えます。

おそらく大きく確実にもうけることができる局面ではとても誠実に一流会社をふるまい、ひとたびもくろみがうまくいかない、となると態度を豹変させ本性を現すのではないでしょうか。

しかも三菱地所には巨大なブランド力、経済力、支配力があるのです。その巨大な力を利用すれば、メガバンクであろうが大手ゼネコンであろうが、大手弁護士事務所であろうが、そしてマスコミですら、みんな三菱地所側につけることができるのですから、たいていの相手はひとたまりもなく、泣き寝入りするしかない、ということになるのです。

声をあげることすらできないでいる多くの取引弱者のためにも、三菱地所と戦ってください。お願ひいたします。